

読売新聞社賞

数学で国語を斬る！

大阪府 高槻中学校 1年 杉本 修嗣

講 評

文章の特徴をつかむという定性的な問題を，文章内の品詞の出現度数を統計的に分析して定量的な数学の問題に置き換えた，とてもユニークな作品です。特に題材を自分がこれまでに書いた過去の文章にして，それを年代で追っていった分析や，身近な図書の“読みやすさ”といった感覚的な概念を数学でとらえた分析など，具体的で説得力のあるたいへんに興味深い研究に仕上がっています。品詞分解ソフトウェアを上手く使いこなした力量も高く評価します。

中央審査委員会